Japanese Journal of Applied Psychology
2013, Vol. 39, No. 1, 97–99

2012年度第6回常任理事会：議事録

日　　時：2013年3月2日(日) 14時00分～16時00分
場　　所：日本体育大学中会議室
出 席 者：藤田主一理事長，谷口泰富副理事長
浮谷秀一，川本利恵子，齊藤　勇，大坊郁夫，内藤哲雄，深澤伸幸，藤森立男，向井希宏，蓮花一己
事 務 局：齋藤雅英（事務局長），鈴木悠介（幹事），本間悠也（幹事）　（敬称略）

報告事項

1. 理事長の挨拶（藤田理事長）
・理事長より，出席された常任理事の先生方へ感謝の言葉が述べられた。

2. 各委員会報告

1） 機関誌編集委員会（深澤委員長）
・平成24年3月末発行予定の第38巻第3号の編集進行状況について，現在15本の論文（原著論文4本，資料論文6本，短報論文4本，実践報告1本）が既に(株)国際文献社に入稿済みであり，初校原稿の編集と印刷にかかっている。会員への配布時期は4月中旬を予定している。
・第5部門査読正責任者の小嶋正敏先生が体調不良を理由に辞退となった。そのため，立正大学の上瀬由美子先生に正責任者を依頼する予定である。
・4月1日から電子投稿システムが稼働できるべく準備を進めているが，本学会のHPにアップすることが大幅に遅れているため，当面は電子投稿システムと従来の原稿での投稿も受け付けるという，2本立ての処理方法を考慮していく。

2） 企画委員会（藤森委員長）
・12月2日(日）に開催された公開シンポジウムの校正と編集作業を行っている。
・来年度は東京未来大学での開催を予定している。

3） 広報委員会（浮谷委員長）
・『応用心理学のクロスロード』第6巻の発刊予定をしている。

4）「応用心理士」認定審査委員会（内藤委員長）
・当初は「応用心理士」の申請締切りが11月末であったが，申請増をめざし1月末まで延長された。
・申請があった6名全員に対して資格を認定することが決定した。
・今後は「応用心理士」の資格に任期制度，上位資格などをつくることを検討している。

5） 国際交流委員会（蓮花委員長）
・2014年にフランスのパリで開催される第28回国際応用心理学会（ICAP2014）に向けて，若手支援者委員会と連携した企画を検討中である。
・英文特集号について，短報を削除するか検討中である。

6） 若手研究者支援委員会（向井委員長）
・若手を支援するような企画を検討中である。

7） 学会賞選考委員会（川本委員長）
・今年度の予算執行状況についての報告がなされた。

8） 学会活性化委員会（大坊委員長）
・本学会のさらなる活性を図るため，今後の短期的方策，中長期的方策についての案が報告された。

9） 倫理委員会（谷口委員長）
・特になし。

3. 2013年度第80回記念大会について（藤田大会委員長）
・自主企画WSについて，研究発表を申し込んだ参加者には企画費用がかからないこととする。
・ポスター発表時間は90分間とし，責任発表時間は45分間とする。
・記念大会企画シンポジウムについて，「体罰」をテーマにする予定である。

4. 日本心理学諸学会連合について（心理学検定を含む）（齊藤担当常任理事）
・第2回定例理事会における報告がなされた。

5. その他

審議事項

1. 新入会員審査および会員異動に関する件
・新入会者は以下のとおりである（敬称略）。
益川満治，菅礼子，森田亜矢子（以上3名）

2. 年会費の納付に関する件
・2013年度から年度会費を預金口座自動引き落

としにて徴収するか否かを検討するため，次回，開設するための具体的な費用の提示がなされる予定である。

3．自動退会会員の再入会の件
・未納分を支払うことにより，再入会することができることが決定した。

4．名誉会員の推載の件
・該当者はいなかった。

5．終身会員の申請に関する件
・HPに申請のご案内を載せて促すことが決定した。

6．2013年度予算案の件
・加筆・修正が加えられ，提案された。

次回は，5月26日(日)，14時から日本体育大学にて行われる予定である。

2013年度第1回常任理事会：議事録

日　　時：2013年5月26日(日) 14時00分～16時30分
場　　所：日本体育大学中会議室
出 席 者：藤田主一理事長，谷口泰富副理事長
浮谷秀一，川本利恵子，齊藤　勇，大坊郁夫，内藤哲雄，深澤伸幸，藤森立男，向井希宏
事 務 局：齋藤雅英（事務局長），鈴木悠介（幹事），本間悠也（幹事）　（敬称略）

I.　報告事項

1.　理事長の挨拶（藤田理事長）
・常任理事の先生方へ感謝の言葉が述べられた。

2.　各委員会報告

1）　機関誌編集委員会（深澤委員長）
・編集委員会において上瀬由美子先生が第5部門責任者として承認された。
・本年7月に機関誌第39巻第1号が刊行される予定である。

2）　企画委員会（藤森委員長）
・今年度の公開シンポジウムは，東京未来大学で行われる予定である。日程については次回の常任理事会までに決定する。

3）　広報委員会（浮谷委員長）
・『応用心理学のクロスロード』第6巻は12月に発刊予定である。

4）「応用心理士」認定審査委員会（内藤委員長）
・2012年度後期は6名の申請があり，審査の結果6名を「応用心理士」として認定した。

5）　国際交流委員会

6）　若手研究者支援委員会（向井委員長）
・国際交流委員会との共同提案の報告があった。第28回国際応用心理学会（ICAP2014）で研究発表する本学会会員のなかから，審査を経た後，35歳以下の若手研究者（4名）に対して大会参加費の一部が補助（7万円）される。

7）　学会賞選考委員会（川本委員長）
・本年度の学会賞の決定は，次回の常任理事会に選考結果を報告した後に審議して決定される予定である。

8）　学会活性化委員会（大坊委員長）
・特になし

9）　倫理委員会（谷口委員長）
・特になし

3.　日本心理学諸学会連合について（齊藤担当常任理事）
・心理学検定の募集が開始され，常任理事の先生方に周知のお願いがなされた。

4.　2013年度第80回記念大会について（藤田大会委員長）
・大会委員長より大会の概要について述べられた。
・年次大会の80回を記念して，学会企画として「記念セレモニー」を行う。
・記念大会企画シンポジウムは，「オリンピックを語る」「体罰を考える」の2テーマに決定した。
・大会参加と研究発表申込の締切りが近づき，常任理事の先生方に周知のお願いがなされた。

II.　審議事項

1.　新入会審査および会員異動に関する件
・下記の48名の新入会者の申し込みがあり，審議の結果すべてが承認された（敬称略）。
大久保純一郎，風間文明，吉田　暁，清水依子，山田勝真，本多麻子，キン　ミョ　トゥ，武　暁宇，成田智恵子，櫻井広幸，九島紀子，玉井　朋，石垣琢磨，横山ひとみ，望月祐佳，荒井弘和，萩野谷俊平，羽場香織，上野萌子，

渡辺伸子，稲垣俊介，山口　智，佐藤菊子，宮澤由樹，南條正人，許　善花，山田健太，平塚大智，田上恭子，安齋　茜，木村年晶，竹内利光，小西一博，田中　裕，伊藤隆宏，中原眞，阪井俊範，鉄川大健，林　滋子，齋藤彩，東出尚子，八柳むつみ，向垣内　愛，末瀬慧，池原有紀，濱田真衣，須賀絵美，久野美智代

・退会者は以下のとおりである。
松嵜洋子

2. 法人化に関する件
・今後，本学会を法人化するかの検討がなされる予定である。

3. 2013年度予算案の件
・2013年度予算案が承認された。

※次回の常任理事会は，8月4日（日）14時00分から日本体育大学で開催する予定である。